

平成25年度東海村文化祭

山野草展示会



ヒメシャジン

高山の岩かけで 風にゆれながら咲く花
深い深い青は 落ちてきたあの空のかけら

期 日 11月2日(土)～11月4日(月)

場 所 東海村総合体育館

主 催 東海村文化祭実行委員会

東海村山草連盟

挿し木

- 5~6月や梅雨時が行いやすい
- 切り口を水に20~30分つける
- 葉先や枝先を切り取って土に挿し、根を出させて株を作る方法です。多くの植物で行え、草ものは「挿し芽」。

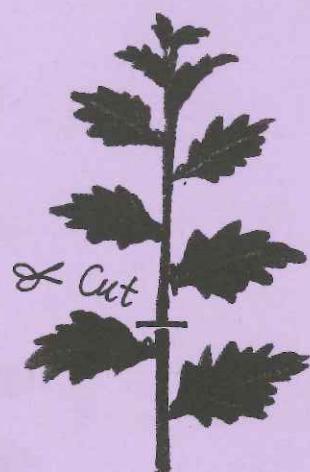
木ものは「挿し木」と言う場合もありますが、方法は同じです。大きい葉は半分くらいにカットしておきます。2~4週間すると新芽が出てくるので、それまで直射日光の当たらない日陰で育てます。

挿し木のしかた

- 1 ハサミで、葉を5~6枚つけて枝先を切り、挿し穂にする



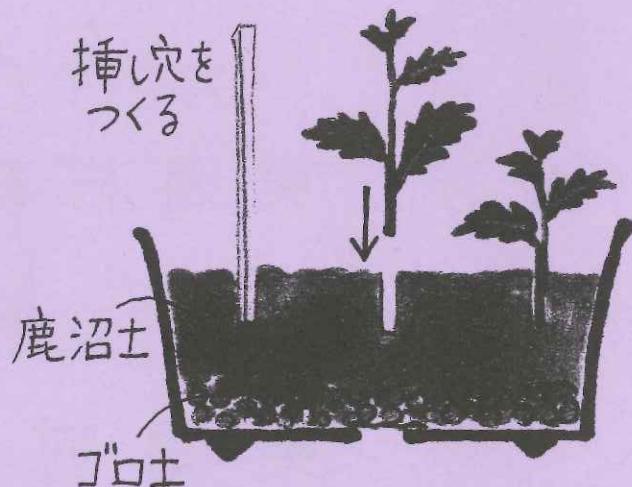
- 2 水の吸い上げをよくするために茎を1~2節切り、さらに下葉を切る



- 3 挿し穂を20~30分水につける



- 4 素焼き鉢に用土を入れ、割り箸で穴をあけ、挿し穂の節が埋まるくらいに挿す



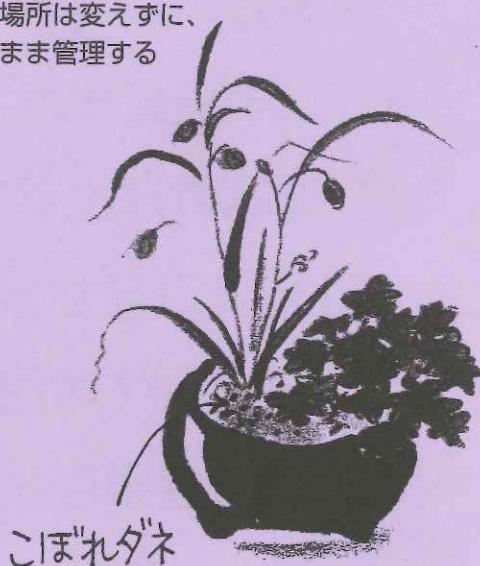
こぼれダネを育てる場合は

- こぼれたタネ（こぼれダネ）をそのまま育てる
- 芽が小さいうちは底から水を吸水させて育てる
一年草はタネができると枯れ、こぼれたタネから新しい株が育ちます。また、草盆栽や苔玉を長く育ててい

ると、植えていない植物が顔を出すことがあります。これは、近くにある植物からこぼれたタネや、風で運ばれたタネが落ちたものです。雑草と見分けにくいのですが、育ててみるのも楽しいでしょう。

こぼれダネの育て方

1 置き場所は変えずに、そのまま管理する



2 水やりは、芽の出始めのころは、水を入れた容器に鉢をつけて底から吸水させる



3 生長して茎がしっかりしてきたら、ジョウロで上から水やりする



4 生長した姿は元の寄植えとは景色が変わっていることも



山草連盟の主な行事

(平成 25 年度)

4月	春の展示会	真崎集会所
6月	春の自然観察	福島県滝川渓谷
7月	夏の展示会	中央公民館
8月	夏の自然観察	福島県浄土平
10月	山野草交換会・芋煮会	舟石川コミセン
11月	文化祭 秋の展示会	総合体育館
12月	忘年会	近隣温泉施設
1月	親睦会	舟石川コミセン

当連盟では、山野草の栽培、管理の仕方の研磨、時節の山野草自生地見学研修などの活動をしています。

“入会を希望される方は、ご連絡ください”

《連絡先》 山草連盟理事長 山崎 国光

TEL 282-2040 携帯 090-2317-9057